

# 国 語

国語科では、単元計画を構想する際、育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、生徒が言葉による見方・考え方を働かせながら資質・能力を育むために適した言語活動を設定することが大切です。

## 国語科の授業づくりのポイント

- 目指す資質・能力を踏まえた単元の目標
- 目指す資質・能力を育成するために適した言語活動

## 目指す資質・能力を踏まえた単元の目標

国語科では、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を相互に関連させながら育成することが大切です。また、資質・能力の育成において大きな原動力となるのが「学びに向かう力、人間性等」です。三つの資質・能力をバランスよく育成できるよう、単元の目標を設定します。

<p><b>1 単元名</b> 「走れメロス」を読んで、登場人物の言動の意味を語り合おう。 第2学年 C読むこと</p> <p><b>2 単元の目標</b></p> <p>(1) 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。 【知識及び技能】(2)ア</p> <p>(2) 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】C(1)ア</p> <p>(3) 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 【思考力、判断力、表現力等】C(1)イ</p> <p>(4) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切して、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」</p>	<p>「疑うのが正当の心構えなのだ、わしに教えてくれたのは、おまたちだ。」とつぶやくディオニス。人を疑うのは仕方ないことだ、悪いことではないと考えています。これに対してメロスは、「人の心を疑うのは、最も恥ずべき悪徳だ。王は、民の忠誠を疑え疑っておられ。」と言い、人を疑うことは悪いことだと考えています。話の後半でセリヌンティウスも、「私はこの三日の間、たった一度だけ、ちらと君を疑った。生まれて初めて君を疑った。君が私を殺すかもしれない。私は君を抱擁できない。」と言っています。このセリヌンティウスの言葉も、人を疑うことは悪いことだと考えているものです。ディオニスの考えとは正反対の考えをもっている二人の「信頼」「信実」によって結ばれた強い絆が、最後に王の心を変えたのだと思います。</p>
---	---

単元の目標を達成した生徒が登場人物の関係について記述したイメージ

## POINT

- 当該単元で育成を目指す資質・能力を学習指導要領解説や年間指導計画等で確認しましたか。
- 「知識及び技能」の指導事項と「思考力、判断力、表現力等」の指導事項との関連を考えましたか。
- 指導の系統性を踏まえ、生徒の既習事項の学習状況を確認しましたか。

## 目指す資質・能力を育成するために適した言語活動

言語能力を育成する中心的な役割を担う国語科では、言語活動を通して資質・能力を育成することが大切です。言語活動を設定する際は学習指導要領の当該学年に示された言語活動例を参考にするとともに、「単元の目標を実現するために適した言語活動であるか」という視点で検討し、設定します。

**【最初に設定した言語活動】** 登場人物の気持ちを考えよう。

↓

学習指導要領を参考に目標の達成に向け、生徒が自分事として言語活動を捉えることができるようにすると…

**【改善した言語活動の例】** 「走れメロス」を読み、登場人物の言動の意味について考えたことを語り合う。

暴君ディオニスは、孤独であることを理由に多くの人の命を奪いました。その王が最後は、「信実は、決して空虚な妄想ではなかった。」と考えを改めてます。「一方、メロスとセリヌンティウスは固い絆で結ばれ、互いの胸のうちに素直に明かせるほどの深い関係をもちつづけて描かれています。もう一つ、悪徳者として生き延びてやろうか。」と悪が一瞬で君を疑っています。そして、「たった一度だけ、おまを疑った。」というセリヌンティウスの言葉とあわせて、弱い一面も二人の共通点であることが分かってきました。王が改心するところからも、他人の心を変えてしまうメロスとセリヌンティウスの強い信頼関係が伝わります。「仲間に入れてくれまいか。」と頼む王の言葉から、「一瞬の迷いを吹っ切った。メロスの輪を広げるための力だったのではないかと感じました。」

実際の授業で生徒が記述した登場人物の関係

## POINT

- 言語活動を教師が実際に行うなど、目標を達成した生徒の姿を想定していますか。
- 生徒が主体的に思考・判断・表現し、言語活動に取り組む場面がありますか。
- 言葉に着目して試行錯誤しながら、生徒自ら学習を進める場面がありますか。

**【参考資料】**

- ① 中学校学習指導要領解説（平成29年告示）国語編（文部科学省）
- ② 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 国語】（国立教育政策研究所）
- ③ 令和5年度中学校教育課程改善の手引 P14、P15（北海道教育庁学校教育局義務教育課）
- ④ 令和5年度全国学力・学習状況調査 北海道版結果報告書 P5、P6（北海道教育委員会）

